

黒崎播磨、ESG経営にフォーカス

黒崎播磨株式会社は、100年以上に亘る歴史の中で、鉄鋼業界を中心とした世界の産業分野に製品を供給し、ものづくりの根幹を支えてきた。同社は今日、ESG（環境・社会・ガバナンス）に沿った経営戦略のもと、グローバル事業の更なる展開にターゲットを定めている。

黒崎播磨株式会社は、1919年の創業以来、鉄鋼業界を中心とした日本の主要産業に高品質な製品を供給することで重要な役割を果たしてきた。同社は現在、耐火物製造を中心としつつ、ファーンエス、セラミックスを加えた3つの事業を柱としている。

「耐火物事業とファーンエス事業には密接な関係があり、例えば省エネ型の工業炉を導入するには、その機能に適した耐火物が必要」と江川社長は語る。長い歴史を持つ耐火物事業・ファーンエス事業に加え、セラミックス事業の強化に注力することで、半導体産業から航空宇宙産業、医療産業と幅広い分野に渡り、多種多様な製品を供給している。今後、同社が持つ独自のセラミックス技術を活かし、高性能かつ高機能な製品を、国内だけでなく海外にも展開する見通しだ。

グローバル展開はセラミックス事業だけにとどまらない。同社はすでに世界各地に耐火物製造子会社を保有しており、中国やインドを中心とした旺盛な鉄鋼需要を背景に、世界中に同社の耐火物製造技術を展開する体制が整っている。

ヨーロッパにおいては鉄鋼業界に加え、セメント業界にも耐火物製品を供給しており、中でもセメントキルン用耐火物の販売は好調で、中南米や東欧への輸出も行っている。また、2021年5月にポーランド ArcelorMittal Refractories社と基本合意書を締結したことにより、同社製品と黒崎播磨グループが持つグローバル製造拠点の製品を組み合わせて欧州内で販売することが可能となった。黒崎播磨グループからヨーロッパの全鉄鋼メーカーへ向けた耐火物供給体制の強化は着実に進行している。

同社はまた、グローバル事業拡大の一環として、世界各国の現地パートナー企業との



「企業として、世代や性別、国籍にこだわるのではなく、誰が一番責任を持って職務を全うできるかを考えています。」

黒崎播磨株式会社
代表取締役社長
江川和宏



機能性耐火物

窯炉用耐火物

更なるジョイントベンチャーを模索しており、近年ではブラジルの耐火物製造企業と販売契約を締結した。現在ではアメリカを重要市場と捉えており、同社はすでにアメリカにおける大半の鉄鋼メーカーに耐火物を供給しているが、「現地で生産し、現地で供給する」という基本方針のもと、アメリカを中心に世界各地で現地生産に取り組む意向を見せた。

黒崎播磨グループの主要製品で特に人気を博しているものに、素材の熱膨張を最小限に抑えられる、ゼロ熱膨張セラミックス「NEX-CERA™」と呼ばれる製品がある。この製品は、微細な半導体製造に貢献するだけでなく、人

工衛星や測定基準器の製造にも必要な機能が備えられている。また、COVID-19の検査や拡散防止に必要な医療機器にも同社のセラミックス製品が使用されており、この分野には事業拡大の大きなチャンスがあると江川氏は語る。

黒崎播磨は、社会的責任を果たす企業として、環境にやさしい社会の実現に貢献しており、その一つとして、クリーンな鉄

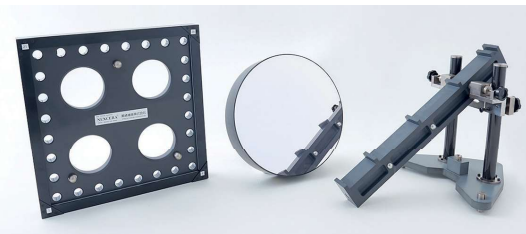
Graphite)製品を使用することにより、鉄鋼メーカーは自動車の軽量化や電気自動車(EV)用の高品質な鉄鋼を生産することが可能となる。同社は現在、この品種で世界最大級のシェアを持っており、極めてクリーンな鉄鋼製造に貢献している。

また同社ファーンエス事業は、排ガス中のエネルギーを50〜70%回収できる省エネ工業炉の建設を得意としている。これは、1,200度の工業炉の場合、蓄熱量を64%、輻射熱を45%削減するため、省エネルギーに大きく貢献可能な技術である。また、バイオマス発電用ボイラーに関しては、国内だけでなく、アジア諸国の現地パートナー企業と連携することで、

これまでに世界計35台の施工実績(2021年10月時点)を有しており、この分野は、世界に事業を展開できる非常に重要な技術だと江川氏は語る。

同社は環境への配慮に加え、国際的なコーポレート・ガバナンスに沿って、ダイバーシティ&インクルージョンにも積極的に取り組んでいる。外国人や女性、また若い世代の従業員に多くの仕事を任せており、江川氏は「私は企業を経営する上で、社員の年齢や性別、国籍を問わず、責任を持って自身の務めを全うできる方こそが会社にとって貴重な人材だと考えています。」と語っている。また「高品質な製品を製造するには、会社のルール、コンプライアンスに従ったうえで、一人ひとりの個性や文化、伝統を尊重することが極めて重要です。それができれば、従業員は社会に貢献し、コミュニティの仲間からも尊敬されることで、各人の豊かな未来を切り拓くことができると信じています。」と江川氏は続けた。

NEXCERA™の用途



ホールプレート

ミラー

ステップゲージ

鋼製造への貢献が挙げられる。例えば、製鉄における連続 casting 工程で、同社のAG (Alumina

KROSAKI
KROSAKI HARIMA CORPORATION
www.krosaki.co.jp/en